

学校・家庭・地域が協力し合うネットワーク

下関市立室津小学校

学校運営協議会について

①実施回数 年間4回開催（内1回は中学校区合同）

②主な協議内容

- ・経営方針の説明と承認、学校支援や地域貢献に関する情報交換
- ・小中共通課題への対応、各校の取組の共通理解
- ・委員による授業参観と研究協議への参加（ユニット型研修）
- ・本年度の振り返りと学校評価、次年度の方向付け 等



↑ユニット型研修



↑伝統細工教室

特色ある活動

◆「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

【ふれあい伝統細工教室・ふれあいフェスティバル】

伝統細工教室では、室津公民館と連携し、地域の指導者を招いて凧づくりをしました。児童は、伝統的な遊びにふれるとともに、指導者との交流を深めることができました。また、ふれあいフェスティバルでは、日頃の感謝の気持ちを伝えるとともに、児童が考えた様々なコーナーで、保護者や地域の方とふれあいながらゲームをしました。図書ボランティアによる朗読劇や、ボランティアサークルのコーナーもあり、学校・家庭・地域が一体となって、楽しく充実した時間を過ごすことができました。



↑ふれあいフェスティバル

【地域学習】

1・2年生は生活科の学習で、3年生は社会科と総合的な学習の時間において、地域に出向いたり、地域の指導者を招いたりして地域学習を行いました。まちの様子や暮らしや仕事、名所や古くから伝わる行事等を調べることを通して、ふれあいの温かさを味わうとともに、ふるさと室津のよさに気づき、自分たちで守っていこうという心情を育むことができました。



↑地域学習（まち探検）

◆コミスク主催の行事【着衣水泳】

コーディネーターによる企画運営の下、専門家を講師に招いて、希望者対象の着衣水泳体験を実施しました。保護者だけでなく地域への案内を行ったこともあり、児童や中学生、保護者や教職員等、多くの参加がありました。参加者からは、体験を通して、水難事故の恐ろしさを実感するとともに、身を守る方法を知ることができたと、喜びの声が多く聞かれました。



↑着衣水泳

◆熟議の実施【豊洋中学校区三校合同熟議】

実施日：令和元年11月22日（金）16:30～18:00

テーマ：「ネットトラブルから『子ども』を守る」

参加者：67名（地域連携教育エリアアドバイザー・社会教育主事・学校運営協議会委員・保護者・教職員・中学生）

今年度初めて中学生3名が参加し、少年サミットを受けての発表の後、熟議へも参加しました。その効果もあり、例年以上に活発で深まりのある熟議となりました。

来年度に向けて

各担当者によるまとめと「地域連携カリキュラム」の修正により、取組の充実を図ります。また、地域のニーズと学習を結びつけ、双方にとってよりよい地域貢献の形を探るとともに、小中連携がさらに進むよう働きかけていきます。

心を拓き絆を深める地域との交流

下関市立誠意小学校

学校運営協議会について

- ① 実施回数 年4回開催
- ② 主な協議内容
 - ・校長が今年度の学校運営の基本方針やコミュニティ・スクールの推進体制について説明し、学校運営協議会が承認しました。(5月)
 - ・児童質問紙の結果、児童の学力の実態や学力向上の取組、教職員の状況などを説明し、学校課題について話し合いました。(10月)
 - ・授業参観後に、授業後の感想、地域での児童の様子などについて話し合いました。その後、豊洋中学校区での三校合同熟議に参加しました。(11月)
 - ・本年度の活動の振り返りと学校評価書の評価、そして来年度の学校運営の基本方針を決定します。(3月)

特色ある活動

◆地域の方の学校支援活動

【PTAや柱松保存会による学校支援活動】

毎年7月に誠意小学校PTA夏祭りを開催し、PTA各部による出店や厚島太鼓に合わせての豊浦音頭、柱松保存会による柱松などを行い、児童に伝統行事や伝統文化を体験させる貴重な場となっています。



夏祭り 柱松作業

◆地域貢献

【3・4年生の児童を中心とした地域貢献活動】

3・4年生の児童が、黒井地区社会福祉協議会の「ひまわりの会」に参加し、歌やゲームで交流しています。また、2年生以上の学年の児童が歳末に、カレンダーに添える手紙を書いて校区内の一人暮らしの高齢者の方に渡し、喜ばれています。



ひまわりの会

来年度に向けて

- ・3月の学校運営協議会では、来年度の行事や方針について決定する予定です。
- ・教職員や保護者、地域の方の学校評価と学校運営協議会による評価との整合性を図ることにより、地域の声を反映させた学校運営に一層努めたいと思います。
- ・地域貢献に関しては、地域への美化美化クリーン作戦を充実させ、縦割り班や登校班などで、自分たちの地域は自分たちで美しくする意識をしっかりとらせる取組をして地域との絆を深めていきたいと考えます。また、地域の行事や文化祭に積極的に児童が参加する働きかけを学校としても更に工夫していく必要があります。

「学校、家庭、地域が一体となった教育」をめざして

下関市立豊洋中学校

学校運営協議会について

① 委員の構成 15名

自治会副会長、公民館長、育成会長、児童委員、保護司、小学校長、HoMeS 代表

② 実施回数 年間4回開催

③ 主な協議内容

- ・授業参観（毎回実施）後、学校経営方針の確認及び承認、今年度の学校の様子、本年度の活動について協議した。（5月）
- ・豊洋中学校区三校合同学校運営協議会を開催し、スマホにまつわる諸問題について、家庭、学校、地域からの情報交換及びその対策を協議した。（7月）
- ・生徒の様子、学力向上、生徒指導、教職員の綱紀保持研修、働き方改革等について協議、情報交換した。（10月）

特色ある活動

◆小中学校の校内組織と学校運営協議会の連動

小中学校の三校連絡協議会の学校組織を「保体部」、「生徒指導部」、「研修部」の3部会に分け、9年間を意識した協議を行い、豊洋中学校区としての重点取組項目を考え、各学校で実践している。また、平成28年度より、誠意小・室津小・豊洋中の三校合同学校運営協議会を実施している。さらに、今年度は、小中連携授業力向上実践研究にも取り組んだ。

◆地域の方、地域協育ネットHoMeSの学校支援活動

【学習支援】

英検・漢検の実施、夏休みの自主学習の講師や英語の補習の講師、PTAと連携した家庭教育学級の講師などを務め、生徒の学習を支援している。



↑ 漢検・英検の実施

【学校行事支援】

入学式をはじめ運動会や文化祭での駐車場係や見回り、地域の絆づくりをめざした芝生コンサート（吹奏楽部・地域の方との合同コンサート）、今年度10回目を迎えたどんどこ焼き（含書き初め大会・竹馬大会等）、文化祭PTAバザーへの協力や家庭教育学級など学校行事だけでなく、地域やPTA活動の支援も行っている。



↑ 書き初め大会

◆余裕教室の活用 『HoMeSルーム』

活動の前にHoMeSの方々が集まり、見回り活動や漢字検定、英語検定の打ち合わせをしたり、準備をしたりしている。昼休みには、子供たちが集まりHoMeSの方々と談笑したり、悩み事の相談をしたりするなどの交流の場となっている。子供たちにとっても、ほっと一息つける場所である。

来年度に向けて

- ・「豊洋中学校区のめざす子供像」に向けての取組を具体化し、地域連携カリキュラムを作成して、学校・家庭・地域がより一体となった教育活動が展開されるよう準備を進める。